

# ERP×DX：成功ユーザの活用実態とトレンド

株式会社NTTデータ・Bizインテグラル  
コンサルティング事業部 小笠原 健

**NTT DATA**  
Trusted Global Innovator

*Biz* ∫  
Bizインテグラル

# Biz*f*

株式会社NTTデータ・Bizインテグラル  
コンサルティング事業部 コンサルティング部  
小笠原 健（おがさわら けん）



NTTデータ・Bizインテグラル入社後、当社ERPであるBiz*f* (Bizインテグラル)の導入コンサルタントに従事。大規模運輸業のお客様に対する会計システムの導入プロジェクトに参画。

Biz*f*のデジタル領域に関する機能強化の企画運営およびAlliance先との連携を通じたERP×デジタルのサービス拡充をリーディング



Biz*f* マスコットキャラクター  
「Bizインテぐま」

- 1. ERP市場の変遷と最新のトレンド**
- 2. 事例から見るERP×DX：成功のヒント**
- 3. まとめ**
- 4. BizJの紹介と将来のERP**

# 01

## ERP市場の変遷と最新のトレンド

# お客さまが抱える経営上の課題とIT投資：JUAS IT動向調査2022 (※)

IT投資で解決したい経営課題 n=1127	短期順位	中長期順位
業務プロセス効率化(省力化、業務コスト削減)	1位	2位
迅速な業務把握、情報把握(リアルタイム経営)	2位	1位
働き方改革(テレワーク、ペーパーレス化等)	3位	3位：ビジネスモデルの変革

IT予算の増加理由(22年度予測) 上位3つ n=489	割合
業務のデジタル化対応	49.3%
基幹システムの刷新	48.1%
基盤設備・増強	45.4%

**業務プロセスの見直し：業務の効率化・自動化  
それに伴った基幹システムの刷新**

**15年以上不変の課題**

**変わらぬ経営課題と密接に関係している基幹システム  
ERPはこれまでどのように変化しているのだろうか？**

**日本にERPが登場してから30年以上が経過  
15年以上変わらぬ経営課題に対して  
ITの進化とともに成長を続けるERPの  
関係を探ってみよう！！**

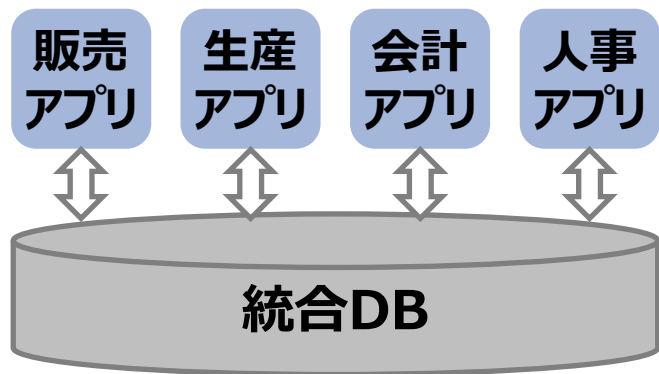


# ERPのトレンド

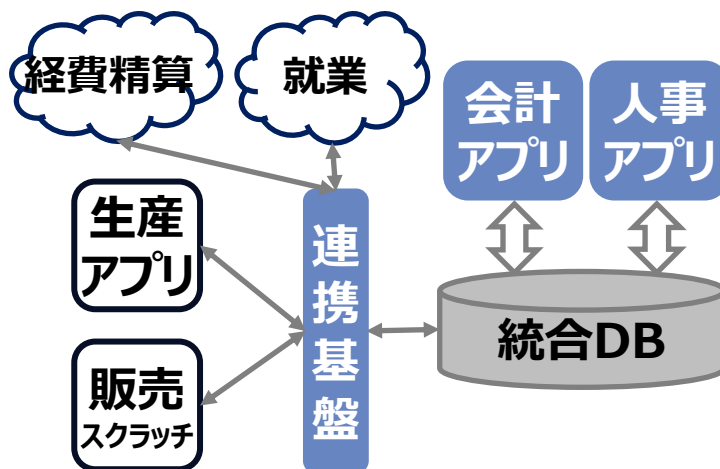
2025年までに、大企業の70%以上は、単一ベンダーによるモノリシックなERP戦略を離れ、コンポーザブル戦略を採用する



全社レベルで  
統合されたシステム

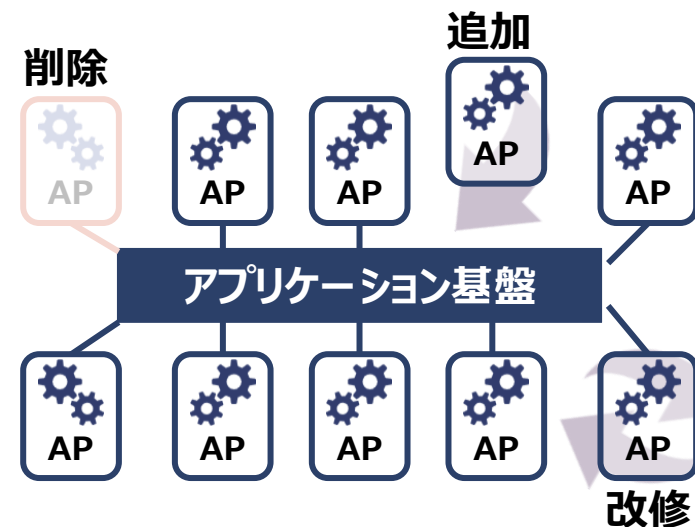


良いとこどりの  
適材適所型システム



コンポーザブルERP

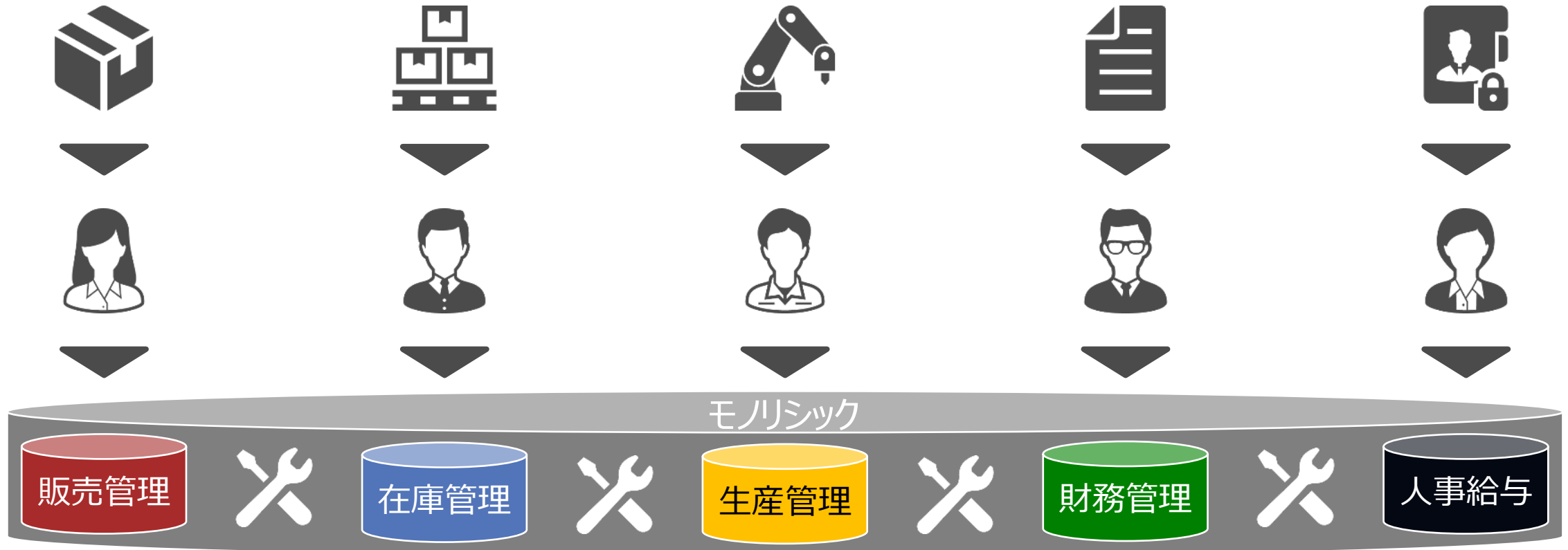
要素や部品を  
組立て構成するシステム



# 1. モダンERP : 1990~2010年代

欧米の標準化された業務モデル、経営視点で最適化された統合型システム  
BPRの名のもとに、業務プロセス全体をシステムに合わせて導入  
データは大福帳型DBにより一元管理され、シングルインプット化が進む

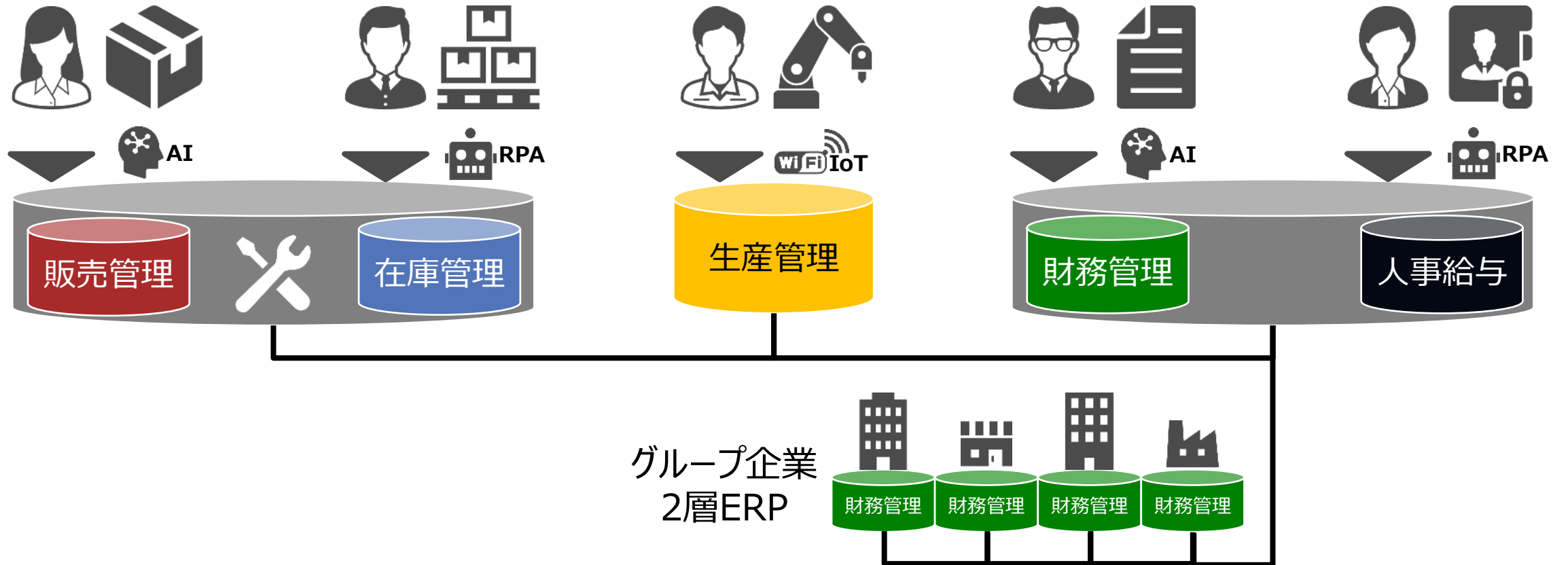
日本の商習慣にあわずアドオン・カスタマイズの塊、ベンダーロックイン、レガシー化



## 2.ポストモダンERP：2010年代以降

業務毎に最適なシステム(パッケージ/スクラッチなど)を導入

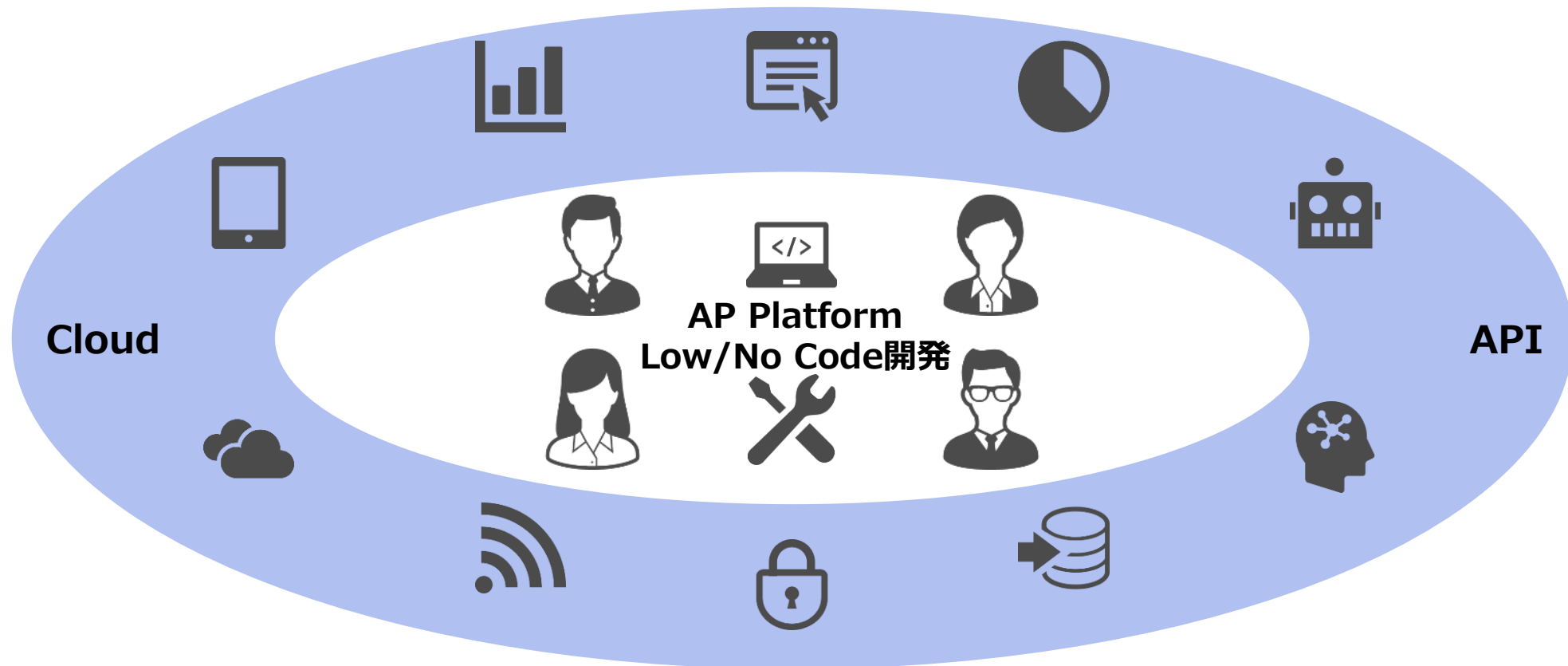
AI・クラウド・IoTなどのデジタル技術によりインプット・アウトプット・連携の自動化を実現  
ガバナンス・スケール・費用対効果などを鑑み、2層ERPによるグループ全体最適化が進む



### 3.コンポーザブルERP : 2020年以降

Gartner®によると、「未来のERPは『コンポーザブル』になる」としています。(※)

アプリケーションプラットフォーム、コンポジットアプリケーション、API/サービス連携、市民開発



## 変わらぬ経営課題の背景にあるもの

- パッケージをカスタマイズしレガシー化
- 新しい事業や環境変化にシステムが追従できない
- システム導入後、システムと業務プロセスが徐々に乖離
- 各種製品のライフサイクルに伴うバージョンアップ などなど



変わらぬ経営課題に対応すべく、  
ERPは個々の時代に併せて常に進化し続けている  
これから求められるものはコンポーザブルERP



# 02

## 事例から見るERP×DX：成功のヒント

# お客さまが抱える経営上の課題とIT投資：JUAS IT動向調査2022 (※)

DX推進の目的 上位3つ n=1125	割合
既存事業のコスト削減(業務の自動化など)	31.7%
既存事業の収益力向上(売上拡大など)	31.6%
新規事業・サービスの企画、開発	11.4%

IT予算増加理由の伸び率 上位3つ	FY2020 n=460	FY2021 n=489	差分
事業変革に向けたデジタル化対応	29.3%	37.0%	7.7%
業務のデジタル化対応	46.1%	49.3%	3.2%
基幹システムの刷新	45.0%	48.1%	3.1%

**DXは業務プロセスの自動化・効率化が中心  
ビジネス変革・サービス創造へのDX適用は加速**

**日本型DXの特徴**

















DXによる業務プロセスの自動化や業務の効率化・・・  
成功ユーザは具体的にどのような活用方法をしているのだろう？

上手にERPを活用できているユーザは、  
**どこに重点をおいてERP選定**をしているのか？  
**DXをどのように活用**しているのか？  
成功している事例からヒントを探してみよう！



# 実際のERP・DX活用・成功事例

: 事業環境変化対応    : DX活用    : テンプレート

業種	課題・ニーズ	解決の方向	成功ポイント
小売業	業務とシステムが乖離し、必要なタイミングで必要な情報が得られない	将来の企業規模を見据え業務効率化できるシステム RPA活用による業務の自動化・効率化	 
製造業	グループ再編に伴うシステムの再構築 経営の高度化	RPAによる業務プロセスの自動化 BIによる経営に資するデータ活用の高度化	 
運輸業	デジタル経営の推進 ペーパーレス化の推進	パッケージ長期利用を見据え、ノンカスタマイズを徹底 AI-OCRによる自動化	 
建築業	拡張性の低い既存システムによる限界 グループガバナンス強化・データ活用	パッケージに業務を合わせ、法対応等への追従を可能とする 統合DB + BIによるデータ活用の高度化	 
放送業	外出先でのデータ入力・処理の自動化 経営に資するデータ活用・高度化	AI-OCR, BI, Work Flowによる業務自動化・高度化 業界特化テンプレートの活用	 
サービス業	手作業・分断された業務の再編 非効率な業務の廃止	業務のペーパーレス・デジタル化 業界特化テンプレートの活用	 
造船業	アドオンだらけのレガシーシステムにより 業務が硬直化	システム刷新に併せプロセス整理と効率化を図る	 
製造業	アドオンだらけのレガシーシステムにより 業務が硬直化	法改正対応、長期利用 業界特化テンプレートの活用	 

# 基幹システムを効果的に継続利用するための採用ポイント

## ERP×DXの実態

- ERPはバージョンアップを前提にした選定で長期利用を指向
- ERPに併せられる業務を明確にし、+αをDXでカバー
- DXは、RPA, AI/OCR, BIなどがトレンド

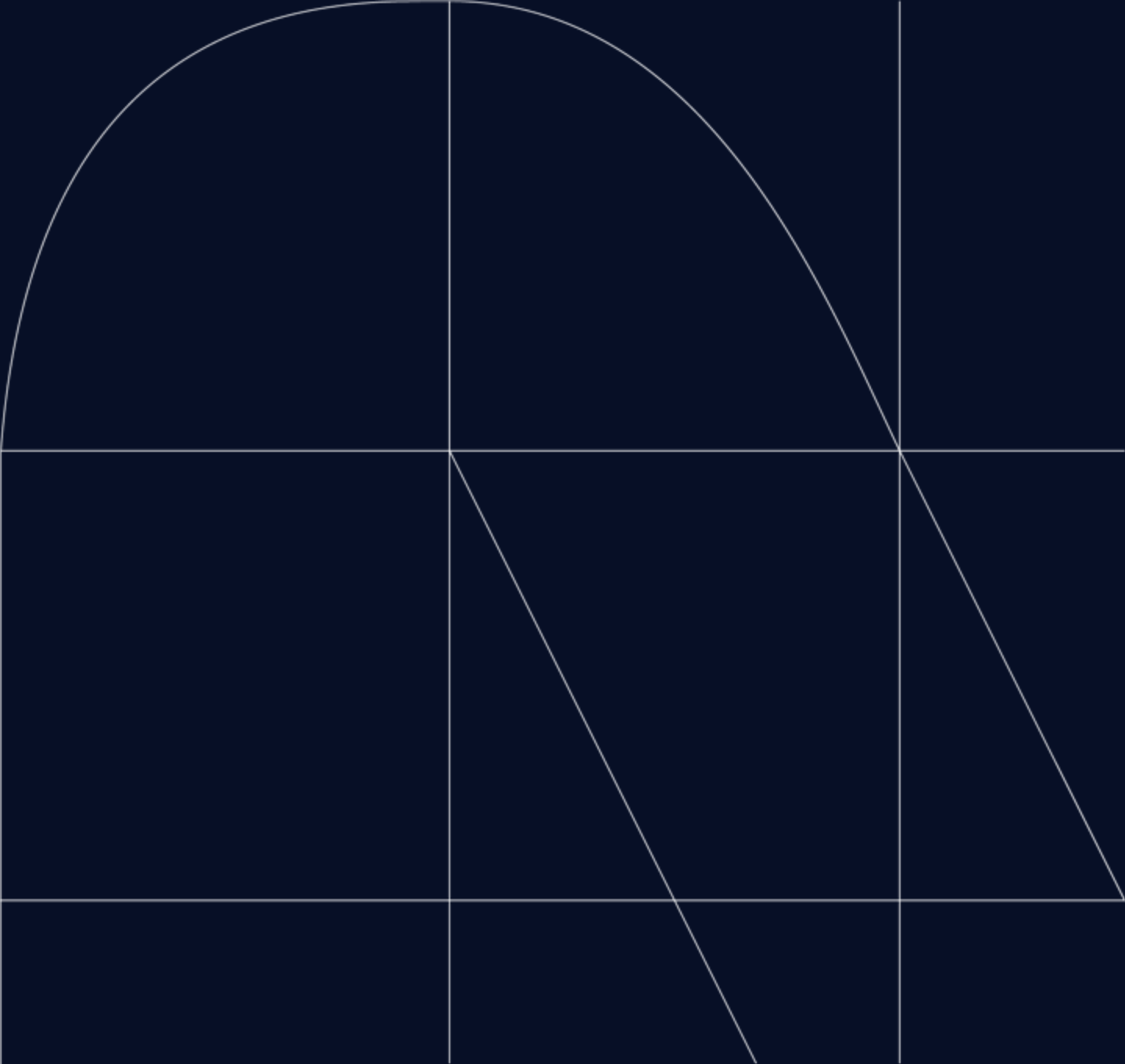


- **業務プロセスの自動化・効率化でのDX有効活用**
- **業務適合性と業務プロセスの整理・構築はセットで行う**
- **自社の事業変化、外部環境変化に追隨できる仕組み**
- **自社業務にシステムを併せられるテンプレート・業務部品**



# 03

まとめ



# 1

15年以上変わらぬ経営課題



- 硬直化した基幹システムに長期間縛られる
- 事業変化に追従できない各種事情

# 2

事業環境変化への対応方法



- 変化に対応する：業務プロセス標準化
- 作る・連携：テンプレート・業務部品の活用

# 3

DXの取り組みの方向



- 業務プロセスの自動化・効率化で有効活用
- 業務の適合性とプロセス整理・構築はセット

バックオフィス・基幹システムを中心としたプロセス変革を進め、

**環境変化に耐えられる企業の屋台骨をつくり**

**DXはビジネス変革へ**

※ただしDXを推進できているのは4社に1社で、背景にあるのは人材不足

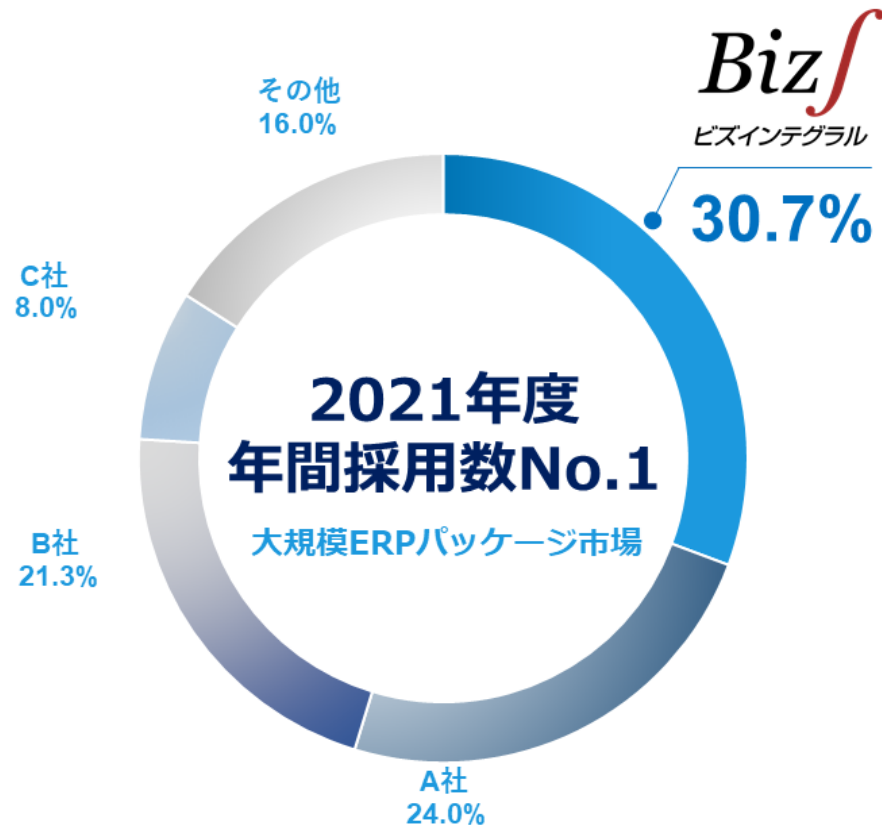
# 04

## Bizfの紹介と将来のERP



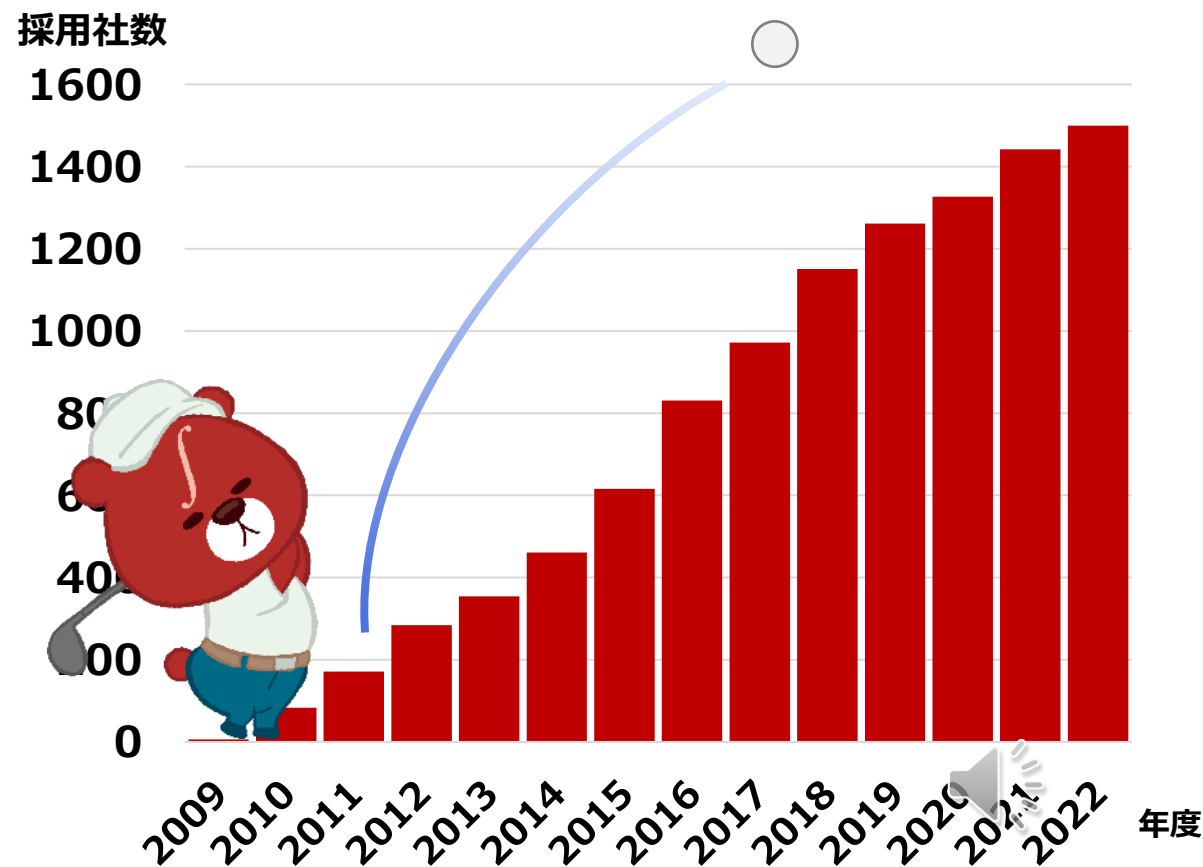
# 注カレンジにおけるシェアと採用社数

2021年度 大規模マーケット\*向け  
年間出荷数 No.1



\*:富士キメラ総研『ソフトウェアビジネス新市場2022年版』  
「大規模企業向けERP」パッケージ(数量)部門2021年度実績より

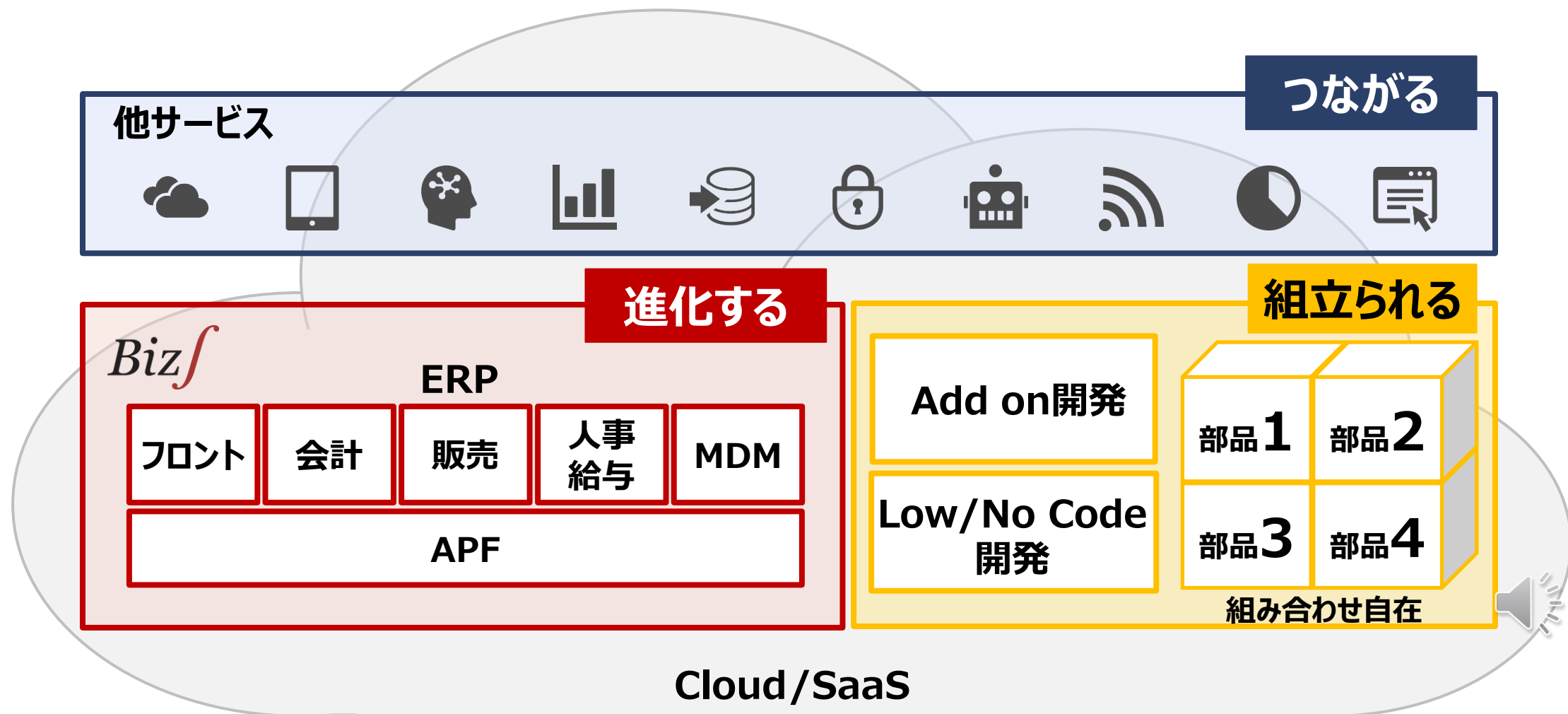
約1,500社超の採用実績  
(2022年12月末時点)



Biz「マスコットキャラクター「Bizインテグま」

# 将来のERP : Bizfの方向性 ~コンポーザブル・テンプレート・ Cloud/SaaS~

Bizfでは、コンポーザブルERPの考え方を踏まえつつ、『進化する』、『つながる』、『組立られる』ERPを目指してこれからもより良いサービス開発を進めて参ります。



# Biz/Optimaの特長3選

## NTTデータグループが提供するクラウドERPでビジネスを加速

- 特長①：大手企業にも実績豊富な「Biz/会計」をクラウド化。**経理の業務高率化に貢献**
- 特長②：個社専有型のパブリッククラウド上で提供。**他社との共有環境を利用することによる懸念を解消**
- 特長③：標準でノー/ローコード開発機構が同梱。簡易システムを開発・連携させることで、**アップデートへの追従もしやすい**

導入方法論・運用定着サポート ※順次リリース

 早期購入方法論	 標準機能活用ノウハウ	 業務定着化支援	 動画マニュアル
--	---	--	--

業務アプリケーション

財務会計	管理会計	債権管理	債務管理
固定資産	リース資産	手形	電子記録債権債務

Intra-mart®

ワークフロー	テナント管理	認証アクセス制御	共通マスタ	ポータル
表・グラフ自動作成	ナレッジ集約	コミュニケーションツール	スプレッドシート	

インフラ基盤

オペレーションシステム	データベース 専有型パブリッククラウド	システム運用・監視
-------------	------------------------	-----------

2023年3月20日  
リリース！！



▼特設サイトもOPEN▼

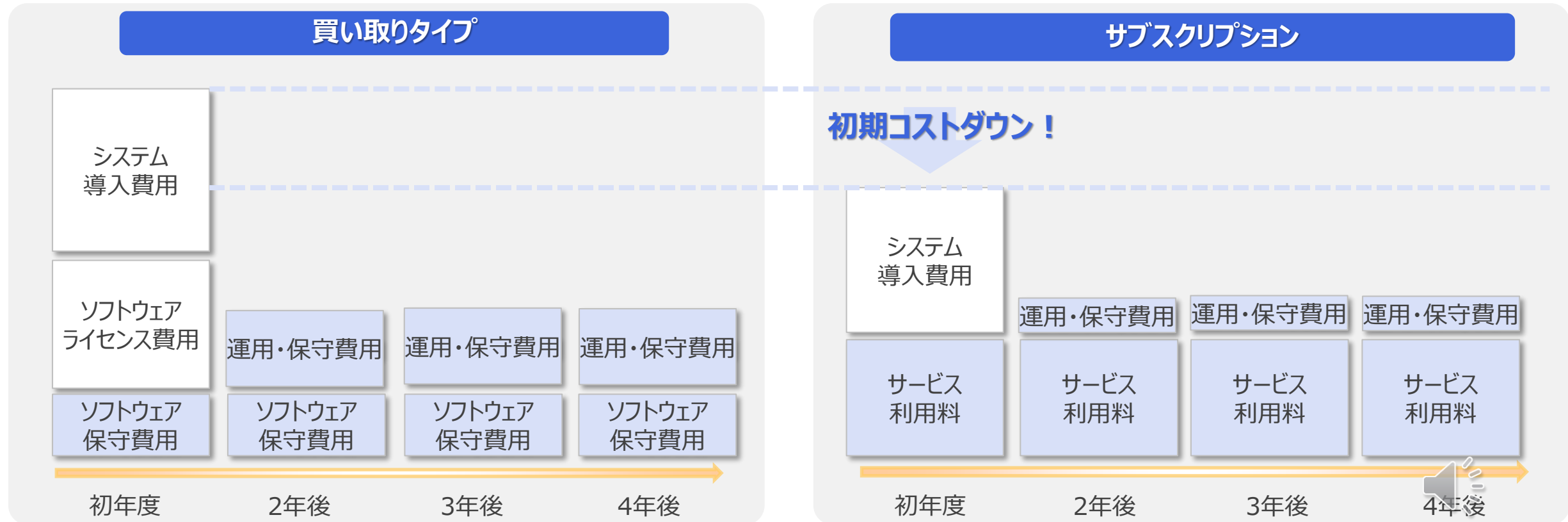
<https://www.biz-integral.com/optima/>



# サブスクリプションだから初期コストを抑えられる

## ERPも所有から利用へ

- サブスクリプションは、初期コストが抑えられ、**利用にかかるコストは経費として処理**
- 買い取り型と比較し、お客さまの事業状況に応じて、**サービスの継続・解約の選択が柔軟**



凡例：  
□ 固定資産として減価償却  
□ 経費として計上



# NTT DATA

Trusted Global Innovator